



広域広報

# おきたま

1/15

No.4

平成4年(1992年)



新年あけまして

おめでとうございます。

今年はいよいよ「べにばな国体」が  
開催されます。

これを契機に置賜中を

花でいっぱいにしましょう。

# 平成二一年度

## 決算報告

去る十一月二十日の十一月定例会において、平成二一年度一般会計及びふるさと市町村圏事業費特別会計歳入歳出決算が承認されました。

### 一般会計

歳出決算額は四十億八千八百八十九万九千円

平成二年度の決算額は、歳入で四十二億一千百七十三万三千円、歳出で四十億八千八百八十九万九千円となり、歳入歳出差引額は、一億二千二百二十七万四千円となり翌年度へ繰越しをしました。

歳入のうち主なものは、「分担金及び負担金」が二十四億九千九百六十四万五千円、「使用料及び手数料」が二億二千九百二十八万四千円、「国庫支出金」が四億二千八百八十七万五千円、「組合債」が八億五千五百万円などです。

このうち、国庫支出金について

ては、露橋清掃事業所（現名称南陽クリーンセンター）のし尿

処理施設建設事業や南陽養護老人ホームスプリングクラークラ整備事業の補助事業で、前年度に比して大巾な増加となりました。また、これらの事業を実施するために借入れしました組合債についても大巾な増加となりました。

次に、歳出のうち主なものは、「組合費」が一億八百四十一万一千円、「電算共同処理事業費」が四億五千七百三十一万五千円、養護老人ホーム南陽やすらぎ荘の管理運営に係る経費の「民生費」が二億五千六百八十七万八千円、ごみ処理施設やし尿処理施設の管理運営に係る経費の「衛生費」が二十八億四千五百八十一万一千円、「公債費」が四億一千八百二十八万円で、

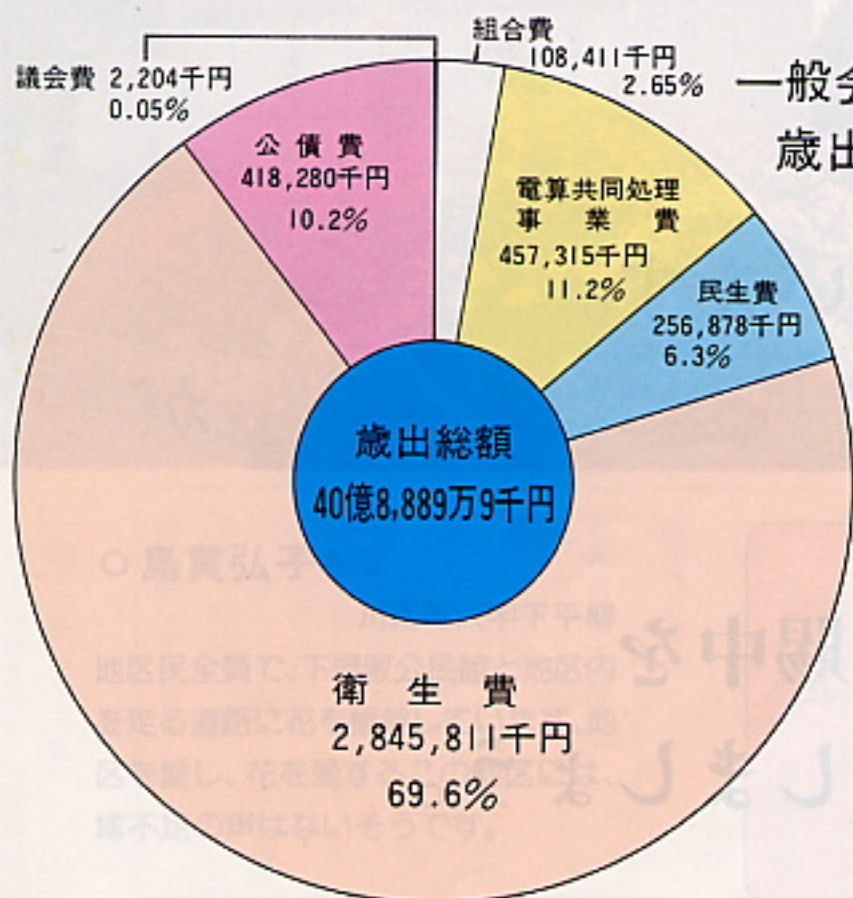
歳出のうち、最も多い「衛生費」の主な内容は、各施設における人件費等のほか、施設の維持管理に要した経費が七億二千八百九十八万八千円、し尿の処理事業に要した経費が三億五千六百八十九千円で、その処理量は、一〇五、三〇七キロリットルです。また、焼却、破砕、埋立処分等ごみの処理事業に要した経費は、三億四千九百六十六万六千円、その処理量は、六一、六五七トンです。このほか、浅川埋立地施設整備に要した経費が三千二百七十七万一千円、へい獣処理事業に要した経費は八百二十七万二千円などです。

### 特別会計

基金の果実は三千七百七十七万七千円

ふるさと市町村圏事業費特別

### 一般会計 歳出の内訳



会計の決算額は、歳入で五億四千四百四十二万五千円、歳出で五億二千五百八十六万五千円となり、歳入は、県支出金が五千万円、基金の果実である財産収入が三千七百七十七万七千円、各市町村からの基金への出資金などの諸収入が四億五千三百九十九万九千円、繰越金が二百七十四万六千円

一方、歳出では、観光案内板の設置や、花の回廊整備事業、基金積立金など花の北斗七星事業を推進するためのふるさと市町村圏事業費が五億二千五百八十六万五千円となりました。この結果、歳入歳出差引額は一千八百五十六万六千円となり、翌年度に繰越しをしました。

# 「花咲き人成るいきいき置賜」を

## ふるさと 目指して

昨年、八月二十七日、米沢市を会場に本組合設立二十周年記念事業として、東北六県の関係者や地元住民の方々約五百名の参加を得て、全国広域圏シンポジウムを開催しました。

広域行政機構は、昭和四十四年、国の広域市町村圏施策によって地域の一体的な振興整備を進める目的で発足しました。しかし、急激な時代の推移とともにさらに広域的・総合的な事業に

行政と住民の双方の認識を高める必要があり、これからの広域行政の果たす役割は一層重要になってきています。

そこで、このシンポジウムは「地域活性化新時代 今 置賜から」をテーマに、これらの課題を論じ、今後の地域の振興方向を探るとともに、個性的魅力ある圏域を創造することを目的に開催されたものです。まず最初に、立教大学教授の前田勇氏が「新時代の地域活性化と観光振興」と題し基調講演を行い、観光産業を振興することが地域活性化への大きな原動力になるという点を指摘したうえで、基本的な課題として開発ビジョンの明確化、地域資源の活用、人材開発との連動、周辺

地域との連携強化等の提言がありました。

この後、置賜広域ふるさと市町村圏計画のメインテーマである「花咲き人成るいきいき置賜」を目指して」をテーマにフォーラムディスカッションを行いました。このディスカッションには、鳥根大学教授の森巖夫氏をコーディネーターに、自治省や郵政省の方々が置賜地域で地域づくりを実践している六人の方々が参加し、活発な討議が繰り広げられ、様々な貴重な提言がありました。最後に森巖夫氏が「今日のディスカッションの中で重要なことが二つあります。一つは置賜の地元を良く知ることが必要でありローカル性をきちんと把握すること。もう一つは、国際化に対応する置賜を考

えなければならぬこと。つまり、極めてグローバルな地球的規模でものが言える地域は最も個性的な地域であるということです。色々な地域との交流をするためには、地球上においてここにしかない置賜をつくることです。ローカルなものほどグローバルであり、国際化社会に耐え得る置賜をつくることです」と総括されました。

## 徳島県阿波町の「花物語」に感動！

去る十二月九日、徳島県阿波町役場総務課長補佐の井原まゆみ氏を招いて花を活用した美しい地域づくり講演会を開催しました。

井原氏は、バーベナ・テネラという花で、「まちおこし」だけではなくとどまらず、全国の花いっぱい運動に大きな感動を与えた花いっぱい運動の仕掛人です。

講演では、バーベナ・テネラとの出会いから、花いっぱい運動が広がっていった状況、そして国際花と緑の博覧会出展へと続く感動的な花いっぱい運動の成果を話して下さいました。

講演の中から、阿波町の花いっぱい運動のあゆみの一端を紹介いたします。昭和五十五年十月に、花壇

講習会や花壇コンクール、花まつりの開催などで第一歩を踏み出し、次第にその輪を広げていき、次々にグループができていきました。

昭和六十一年二月に、バーベナ・テネラが町の花に決まり、同年四月には阿波町花いっぱい運動推進本部も発足し、住民ボランティアによる大規模フラワーロードづくりも始まりました。そして十月には全国花いっぱいコンクールで、町内の元町花の会が内閣総理大臣賞を受賞しました。昭和六十二年四月に、町内の若手農業後継者が「ジョイ・ファーム」を結成し、

花の宅配便などを始めました。こうした地域ぐるみの花いっぱい運動が実を結び、平成二年四月、国際花と緑の博覧会に阿波町バーベナ・テネラ園を出展し、盛り上がりは最高潮に達しました。

一つの花に夢中になった人たちが、あれよあれよという間に町中を、そして全国の花いっぱい運動に、大いなる刺激を与えたというこの「花物語」は、私たちに大きな夢とチャレンジ精神を与えて下さいました。



時代の地域活性化と観光振興」と題し基調講演を行い、観光産業を振興することが地域活性化への大きな原動力になるという点を指摘したうえで、基本的な課題として開発ビジョンの明確化、地域資源の活用、人材開発との連動、周辺

地域との連携強化等の提言がありました。この後、置賜広域ふるさと市町村圏計画のメインテーマである「花咲き人成るいきいき置賜」を目指して」をテーマにフォーラムディスカッションを行いました。このディスカッションには、鳥根大学教授の森巖夫氏をコーディネーターに、自治省や郵政省の方々が置賜地域で地域づくりを実践している六人の方々が参加し、活発な討議が繰り広げられ、様々な貴重な提言がありました。最後に森巖夫氏が「今日のディスカッションの中で重要なことが二つあります。一つは置賜の地元を良く知ることが必要でありローカル性をきちんと把握すること。もう一つは、国際化に対応する置賜を考



講演の中から、阿波町の花いっぱい運動のあゆみの一端を紹介いたします。昭和五十五年十月に、花壇講習会や花壇コンクール、花まつりの開催などで第一歩を踏み出し、次第にその輪を広げていき、次々にグループができていきました。昭和六十一年二月に、バーベナ・テネラが町の花に決まり、同年四月には阿波町花いっぱい運動推進本部も発足し、住民ボランティアによる大規模フラワーロードづくりも始まりました。そして十月には全国花いっぱいコンクールで、町内の元町花の会が内閣総理大臣賞を受賞しました。昭和六十二年四月に、町内の若手農業後継者が「ジョイ・ファーム」を結成し、花の宅配便などを始めました。こうした地域ぐるみの花いっぱい運動が実を結び、平成二年四月、国際花と緑の博覧会に阿波町バーベナ・テネラ園を出展し、盛り上がりは最高潮に達しました。一つの花に夢中になった人たちが、あれよあれよという間に町中を、そして全国の花いっぱい運動に、大いなる刺激を与えたというこの「花物語」は、私たちに大きな夢とチャレンジ精神を与えて下さいました。

# 「地域づくり調査隊」を派遣

花の北斗七星事業の一環として、地域づくり調査隊派遣事業を実施しました。

この事業は、明日の地域をにうリーダーを養成するため、10月から11月の期間に二泊三日の日程で、参加者自身が希望する全国の特徴ある地域づくり活動を展開している市町村に、地域づくり調査隊として派遣するものです。

研修は事前研修二回、本研修、そして事後研修一回を実施しました。

今年度の隊員と調査先等は次のとおりです。  
白ぬき数字は、①職業②調査先③目的④感想です。

## 佐藤恵一さん (29) 米沢市

① 地方公務員 ② 兵庫県篠山町・明石市 ③ たんば田園交響ホールを拠点とした文化振興と街並み整備状況の調査 ④ 置賜には置賜の色がある。しかし、その色は変化する。暗い色にも明るい色にも……色を変えるのは、そこに住む自分達なの



だ。置賜の色を知っているのも自分達だ。明るい色に変えていこう。地域づくりは、ひとりではできない。しかし、地域づくり仕掛人にはなれる。仕掛人は仲間と。置賜の色を探しはじめた。

## 田中金雄さん (34) 長井市

① 自営業 ② 北海道釧路市 ③ 地域商人によるフィッシューマンズワーフの調査 ④ 全国各地で行なわれている地域活性化のための様々なプロジェクトを、行政とのかかわりの視点から研修できた事は、たいへん有意義でした。



風土や環境の中で生まれた歴史や文化は、地域の最大の財産であり、それらを再認識し、地域の人々が主体の地域づくりを住民と行政とが一体となって進めてこそ、個性のある地域づくりになりえると思います。

## 金子信弘さん (36) 米沢市

① 銀行員 ② 滋賀県近江八幡市 ③ 地域活性化事業「はちまんとびあ」の推進状況の調査 ④ 地域づくりにおける行政の果たす役割と、民間活力を導入し地域の特徴を生かした街づくりの手法を学んできました。地域づくりの先進事例研修により



当地域の街づくりへの関心をさらに深めることができ有意義な研修でした。



芳賀一茂さん (25) 長井市

①和菓子製造小売業 ②滋賀県大津市 ③和菓子を通しての地域づくりの実践地の調査 ④井の中の蛙とはよくいったもので、日常の生活習慣をあたりまえと思っていたが、それがまちづくりの実践地を視察研



究したことによって、我が郷土が

実に恵まれた環境にあることを改めて感じました。大海を知り、そして大海から郷土を見ることは非常に大切なことです。来たるべき二十一世紀には、間違いなく地方

神尾啓史さん (23) 川西町

①地方公務員 ②広島県東野町 ③コンセプトエンジニアリングという珍しい手法の開発の調査 ④通常では見聞したり体感したりする事ができない事を、自分なりに精一杯つかみ取って来たつもりです。今回の貴重な研修を記憶の一ページに



埋もらせることなく、様々な立場に立った折に役立つ知識に変えていきたいと考えています。

江口忠博さん (34) 長井市

①漆器製造業 ②石川県輪島市・吉野谷村 ③伝統工芸を通してのまちづくりの調査 ④工芸を通しての地域おこしの実践地を視察してきましたが、この置賜にも規模の大小にかかわらず様々な創作活動を行っている人や地域があります。



地域の風土性を大切にしながら、自然環境と手をとり合った長い目で見られる地域おこしをと思います。子供たちに何を残してやれるかを考えながら……。

安部善明さん (38) 米沢市

①会社員 ②山口県萩市・津和野市 ③城下町としての景観づくりの調査 ④行政は「どうしてもしなければならぬこと」と「すればさらによいこと」の二つに分けられると思う。置広の事業でいえば、例



えば「ゴミ処理」は前者、置広が

これからやろうとする「置賜花の北斗七星事業」は後者。前者ももちろん大事だが、後者の重要性も認識され始めたのが嬉しく思う。地域づくり調査事業は、その意

木村雅博さん (30) 高畠町

①会社員 ②鹿児島県鹿児島市 ③山形県とは違うカラーの青年団活動の調査 ④日本全国各地域づくりに奔走している方々がいてたいへん勇気づけられました。地域づくりは人づくり。それも人と人との新しいつながりから生



まれるパワーがその原動力になります。今後も新しいヒューマンネットワークづくりに取り組んでゆきたい。

鷲尾昇さん (33) 川西町

①会社役員 ②兵庫県芦屋市・姫路市 ③廃棄物問題への取り組み状況の調査 ④今回の研修は、私たちをとりまく環境と私たち自身のかかわりをもう一度じっくり考えるいい機会でした。ごみの問題をテーマに研修して



きたわけですが、ごみの問題は、現代社会の最も基本的な生活文化の問題であるとも言えます。私たちの暮らし方・考え方も一度問い直し、置賜の地域づくり各範

# 組合 ニュース

## 組合職員

### 募集中!!

試験区分・採用人員

初級（技術職）若干名

受験資格

昭和41年4月2日から、昭和49年4月1日までに生まれ、たかたで、機械、電気または化学に関する高校卒業程度の専門的知識を有するかた。

試験日

平成3年2月23日（日）

試験場所

米沢市農協産業会館

3階第1会議室

（米沢市金池三丁目1の55）

受験手続

受験申込用紙は、置賜広域行政事務組合事務局か置賜三市五町の各市役所、町役場の企画担当課で交付します。

申込受付期間

平成4年1月6日（月）から2月7日（金）まで。（郵送の場合は当日消印有効）

申込方法

所定の受験申込書類に必要事項を記入し、左記へ提出してください。

置賜広域行政事務組合事務局  
総務課庶務係

〒973-0238 米沢市金池三丁目1-55

☎0238-233246

採用予定年月日

平成4年4月1日

## 11月定例会を開会

本組合十一月定例会が、十一月二十日に開かれました。この議会では、まず平成二年度一般会計及びふるさと市町村圏特別会計歳入歳出決算の二議案が上程され、原案どおり承認されました。次に、千代田清掃事業所、浅川最終処分場建設工事請負契約の締結や一般会計補正予算など四議案が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

## 広域観光案内板を

### 設置。

このたび置賜花の北斗七星事業の一つである「置賜サイン計画」で、米沢市（国道121号口田沢地内）、長井市（白つつじ公園東側駐車場内）、川西町（タリヤ

公園内）、飯豊町（白川湖岸公園内）の四ヶ所に広域観光案内板を設置しました。

これで、置賜三市五町すべてに同じデザインの案内板が設置されました。近くにおいでの際は、ぜひご覧下さい。



## 環境トピックス

ごみを出す時にはなぜ、燃えるごみと燃えないごみに分けて出さなければならぬのでしょうか。ひと言で言えば、それは処理する方法が違うからです。

焼却は、昔からごみ処理の有効な方法でした。ごみを燃やすことで、埋立地を節約したり、衛生的な効果があったからです。その基本は現在でもかわっていません。たとえば台所から出るような生ごみをそのまま埋め立てれば酸酵してメタンガスを発生し

## ごみは分別しよう

資源化できるごみは、普通のごみに混ぜた中から選り分けるより、混ぜる前に分けておいた方が簡単で効果的です。分けられず、混ぜればごみといわれ、ごみの減量化に努めましょう。

衛生的に好ましくありません。また、紙などの繊維は土中で完全に分解するまでに二十から三十年の間を要すると言われております。このようなことからごみをそのまま埋め立てるよりも焼却した方が効果的であることがわかってきたばかりだと思います。

逆に、プラスチック等の中には焼却の際に普通のごみの数倍の熱を発生して焼却炉を傷めたり、有害物質を発生するものがあります。最近のプラスチック製品の中には発熱量を抑えたものもありますが、見ただけで区別するのは難しいようです。また金属やガラスは、熱を加えて形が変わること



花たち  
「バーベナ・テネラ」



私の名前は、バーベナ・テネラ。クマツツラ科の宿根草です。

ブラジル南部生まれの私は、寒さには少し弱いけれど、夏の暑さと乾燥にはがんばります。

太陽が大好き！私をできるだけ陽の当たる場所に植えて下さい。2、3ヵ月でものごく繁殖するパワーをもっていますから、きっとあなたはびっくりするはずです。その上、少しくらいやせた土地や荒地でも平気なのです。さし芽をしてくだされば、1ヵ月でいい苗に育つ自信もあります。

花色だって、紫、白、ピンク……と、色々なファミリーがいます。そのファミリーが、なんと6月頃から10月下旬まで咲き続けるのですから、あなたにアピールする私の心意気がわかってもらえると思います。

そんないいとこだらけの私にも、弱点が1つ。ウドンコ病が私の大敵なのです。この病気にかかると、まるで小麦粉をかぶったように白っぽくなってしまいます。病状が現れましたら薬を散布して下さい。すぐに元気な私にもどります。

暖地では株が枯れずに残りますが、東京以北では、越冬できないんです。春に種をまいて育ててくださいね。

ほんの少しの肥料と、急激な乾燥時の水やりだけ。それ以外はあまりかまってくれなくとも、いつもあなたに美しい姿をお見せできることと思います。

- 19 運筆堂文庫編集講座(川西)  
19 ニューグランド北陽)  
18 国際交流のつとめ(米沢市)  
17 成人総合大学講演会(川西町 中央公民館)  
16 南陽クリーンセンター竣工式(南陽市 南陽クリーンセンター)

1月



2月



全日本スノーボード選手権東北大会(小国町)

- 1 町 農村環境改善センター  
31 31 2 1 全日本スノーボード選手権東北大会(小国町 横根スキー場)

- 8 8 9 上杉雪灯ろうまつり(米

- 22 鷹町 白鷹スキー場)  
23 白鷹スキー場まつり(白鷹町 白鷹スキー場)

- 中旬 沢市 市民文化会館)  
フラワー都市交流 東京

- 16 えってみてっべ南陽冬まつり(南陽市 市役所庁舎前)

- 6 6 7 富良野塾米沢公演(米沢市 市民文化会館)

- 16 第4回 WINTER トライアスロン(長井市 T.A.S スタート)

- 23 町 下屋地地内)  
中津川地区雪まつり(飯豊)



上杉雪灯ろうまつり(米沢市)

- 沢市 松が岬公園一帯)



WINTER トライアスロン(長井市)

3月

小国町商工観光課	0238(62)	2260(代)
飯豊町産業課	0238(72)	2111(代)
白鷹町商工労働課	0238(85)	2111(代)
川西町商工課	0238(42)	2111(代)
高島町商工観光課	0238(52)	1111(代)
南陽市商工観光課	0238(40)	3211(代)
長井市商工観光課	0238(84)	2111(代)
米沢市観光物産課	0238(22)	5111(代)

●お問い合わせ先

ドーム春まつり(長井市参加)(東京ドーム)

# 花が大好き

# 花自慢



## ○榎本温美さん

米沢市城西四丁目  
自宅の前にフラワーポットを中心に  
たくさんの花があります。



## ○鈴木定雄さん

高畠町大字上和田  
国体の本番は10月。しかし花の少ない  
時期。これならいけると思った花がゴ  
ルデンピラミッド。



## ○島貫弘子さん

川西町大字下平柳  
地区民全員で、下屋敷公民館と地区内  
を走る道路に花を植栽しています。地  
区を愛し、花を愛するこの地区には、  
嫁不足の声はないそうです。

## 花自慢ひませんか

花いっぱい運動や、花の名所など、花に関する  
ことで自慢できるとありましたらお知らせ下  
さい。

・連絡先 米沢市金池3丁目1-55  
置賜広域行政事務組合  
総務課業務係  
TEL 0238(23)3246